1966
11 月号
No.156
編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

11月の人口と世帯
人口 7.373（−4）
男 3.661（−8）
女 3.712（+4）
世帯数 1231（+1）

特産物と林産物の品評会
第十九回鮫川村文化祭

恒例の文化祭も本年で十九回を迎えました。本年度は公民館建築工事が進められているため会場が制限されますが鮫川中学校、畜産センターを中心にして次に紹介するような各種行事が催されます。

日程は十一月二十二、二十三日の二日間（各種品評会は二十一日から）にわたり数会場に分れて開催されます。主な内容はチラシにてお知らせしたとおりですが、本号では細部について紹介します。小見出しは会場、◎印は行事名、（ ）内は開催日です。

鮫川中学校

◎児童生徒作品展（22・23）
村内の小中学校生徒が製作した書写、図画美術、工作手芸等の作品六百五十点と教師の絵画、書、彫刻、写真、手芸等の作品展に加えて、郡内小中学校が参加して開かれる郡美術展は約五百点の出品が見込まれています。

◎菊花展（22・23）
郵便局と鮫川中学校の園芸愛好会が中心となり村内の菊花愛好者に呼びかけて開かれます。季節的に遅れますが約二十五点の出品が予定されています。

◎自衛隊映画会
陸上、海上、航空各自衛隊の実態を紹介する映画と科学映画を二日間にわたり、午前十時より上映します。

鮫中体育館

◎お嫁さんに感謝する会（22）
三十五才までのお嫁さん四百七十五名を招待して、日ごろのご苦労に感謝する会です。当日は式後に青年のコーラスや映画会で楽しんで頂きます。

◎青年会のコーラス（22）
会員五十余名が参加して民謡や歌曲のコーラスを午前十一時よりお送りします。

◎お母さんをたたえる会（23）
三十六才から六十五才までのお母さん一千二百十八名を招待して、農作業や家事に多忙の日を送る主婦の労をたたえる会で、慰安行事として東白川農商高のブラスバンド演奏と映画会を開きます。

◎ブラスバンド演奏（23）
東白川農商高校ブラスバンド部員三十名による演奏を午前十一時より開催します。

◎映画鑑賞会（22・23）
お嫁さん、お母さんの会の慰安行事として二日間にわたり午前十二時より映写します。上映映画はテレビでおなじみのドラマの映画化された、日活映画「絶唱」舟木一夫主演と日活映画「あじさいの歌」石原祐次郎主演の二本で、二十三日には「お山の若大将」が追加上映されます。

一般の入場歓迎
コーラス、バンド演奏、映画鑑賞会は一般に公開します。（入場無料）

中野公民館

◎電話加入者の会（16）

◎簡易保険加入者の会（19）
鮫川郵便局主催の行事で利用者の皆さん方にお集り頂き、実態を見学したり利用状況などについて話し合いの会を開きます。

畜産センター

◎特産物品評会（21・22・23）
本村の特産物として現金収入の相当部分を占める葉たばこ百二十点、こんにやく八十点、蚕繭二百七十点が出品されます。
▲出品物は二十一日受付のうえ審査が行われます。

家畜管理所

◎林産物品評会（21・22・23）
かつては木炭王国として知られた本村でしたが燃料需用の変化から転換の止むなきに至っています。この品評会は過渡期を背景に植林用樹苗二十五点、桑苗七十点、木炭三十点、しいたけ三十点などが出品の予定です。
▲出品物は二十一日受付のうえ審査が行われます。

◎農協展（22・23）
取扱品の展示即売と農業肥料、農機具、農村電化の各展示会が開かれます。

◎商工展（22・23）
加盟商工店の取扱商品の展示即売を行ないます。

青年研修所

◎生活改善展（22・23）
生改推進員、婦人会、農協婦人部の共催により衣料三十点、食品三十点、生花三十点を展示します。

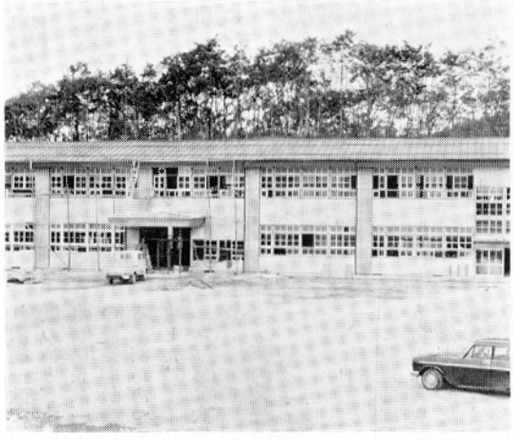
高校分校

◎高校生の作品展（22・23）
東白川農商高鮫川分校生徒百三十余名の衣服、手芸の作品や、ホームプロジェクトによる農産物など多数が出品されバザーが開かれます。

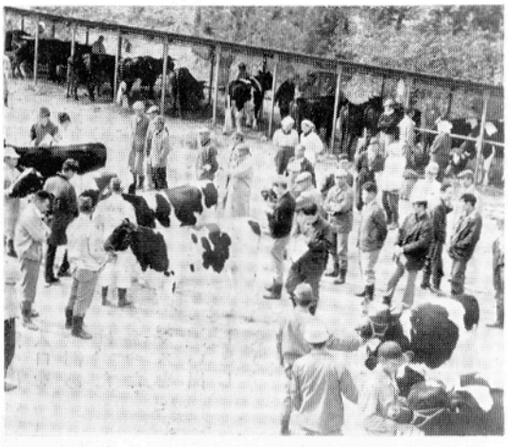
×　×

二日間とも午前九時より開館します。閉館は二十二日午後四時三十分、二十三日は午後二時三十分（映画会会場は除く）までです。

特産物や林産物の品評会は二十一日に出品を受付け、その日に審査を終りますから、おくれないよう出品して下さい。



青生野小学校の新校舎は11月17日落成式をあげました。これで村内の6小学校がすべて新築されたわけです。



今年の畜産共進会は小春日和の11月10日畜産センターでにぎやかに開催。乳牛和牛65頭が出陳され、特に管理のよいのが目だちました。

青生野小の落成式

四十年度から二ヶ年計画で進められていた青生野小学校は、このほど完成し十一月十七日にへき地集会所で来資八十余名、学区民百余名が参加して盛大に落成式が催されました。この学校は木造二階建で延面積七百三十四㎡（二百二十二坪）に普通教室六、特別教室二、管理室三、便所一棟、玄関ホール昇降口のある近代的な建物で、事業費は一千二百二十六万円（工事費一千九十六万円、附帯工事費二十九万五千円余、整地工事費五十万円、事務費五十万四千円余）でした。

彦次郎橋の竣工

富田字彦次郎地内の県道の橋は老朽のため架替が要望されていたが、本年七月より道路も直線にし旧橋より十米先に鉄筋コンクリート床版橋の建築工事が始められました。工事費は四百九十二万円で塙町の深谷土木が請負い十一月九日に完成し、十五日に現地で竣工祝賀式を行ないました。

阿武隅山系の開発

東白川農業委員大会

十月二十二日午前十時より本村鮫中体育館で郡内の農業委員百余名が参加して開かれました。大会は功績農業委員（須藤栄恭）、模範農家（青生野…大竹光寿、中野…円井勝夫）、特別功労者等の表彰があり、矢祭町の高信会長を議長に議事が進められました。

提出議案は「阿武隈山系開発縦貫道路について」鮫川村「阿武隈丘陵地帯の開発促進について」塙町、「牧野、牧草地の開発と国有地の活用及び畜産体制の確立について」矢祭町、「農用地の基盤整備事業費は全額国庫負担等とすることの要望について」棚倉町、「山村振興法の適用拡大について」鮫川村で、それぞれ満場一致で議決され宣言決議のあと、大信村農業委員会事務局長星一実氏の「わが村の農業委員会の運営」と題する講演があつて大会を終了しました。



（写真は大会風景）

秋の全国火災予防運動

一、日的

この運動は、火災の防止と人命の保護を目標に、国、地方公共団体及びその他の公共機関を通じ、火災予防思想の普及を図つて国民一人一人の防火意識を向上させ、火災予防体制を強化することを目的として行なわれます。

二、実施期間

昭和四十一年十一月二十六日から十二月二日まで

三、重点項目

イ　火災発生危険の排除

ロ　火災拡大危険の排除

ハ　一般家庭における避難体制の確立

ニ　旅館、学校、事業所等における避難体制の確立

右の趣旨により村民各位の御協力を願います。!!

プロパンガス五ヶ条

▼ガス洩れ防止には▲

① 配管や継目は、ときどき調べましよう。

② ゴム管が災で焼けることがありますから注意しましよう。

③ 使つた後は、元栓までキツチリしめましよう。

▼ガス洩れに気がついたら▲

④ ただちに元栓をしめて、窓や出入口を全部あけ、たまつたガスを追い出しましよう。

⑤ 近くの火の気は消し、電気のスイツチも絶対にいじらないようにしましよう。

（総務課）

畜産の祭典ひらく

～十一月十日の小春日より～



畜産共進会の和牛審査風景



乳牛の部で優等賞をうける水野さん　鈴木さん　舟木さん

文化祭行事の一環として毎年開かれている畜産共進会は今年で十九回となり、よく晴れて暖かな小春日和の十一月十日村の畜産センターで開かれました。

出陳頭数は乳牛和牛あわせて六五頭に達し、午前九時から棚倉保健衛生所松本所長を審査長として審査が行なわれました。

今年は品質の向上とともに特に管理のよくなつたことが目だち、多数の参観者から感嘆の声が起りました。

褒賞授与式には知事代理や佐川、古市両県議も出席し賞讃の祝辞を述べられ、知事賞をうけた鈴木幸栄さんが謝辞を述べ式を終りました。

◆ 乳牛の部

優等賞　水野吉三郎、鈴木幸栄、舟木仁

一等賞　舟木次男、関根源治　水野吉三郎

二等賞　鈴木啓二、鈴木好美　関根博、前田勝一、遠藤正雄、蛭田正、関根博、遠藤正雄、生田目旭

◆ 和牛の部

優等賞　鈴木ユキ子、関根初男、緑川義美

一等賞　生田目光次、鈴木千代之助、山本久之、本郷広美、蛭田啓之助

二等賞　阿久津定太郎、高木正雄、羽田善孝、本郷義雄、金沢関正、青戸倉之進、岡部長治、芳賀理男

〔知事賞〕

乳牛　ワシントンスカイラツクセジス号　赤坂西野　鈴木幸栄

拡大の歩み（40）

これからの東北開発

村長　石田卯子八

東北開発三法が施行されて既に十年になりますが、その間、関東や近畿などの目ざましい発展にくらべると、東北開発のテンポはスローであつて、地域較差は更に拡大するものと見られています。

これについて、第十九回東北開発審議会は「東北地方の開発を進めるに当たつての基本的問題点」と「東北地方における産業振興のための具体策」の二方針を決定して、佐藤首相に報告することになりました。

この中で東北開発をおくらせる要因、発展を阻害する要因を次のようにあげているのが注目されます。

1 自然的条件の悪さ

2 初期条件の不利、一次産業へのかたより

3 発展に対する適応のおくれ

4 封鎖的な意識の残存

今年の春、仙台で開いた東北六県町村長大会の席で、一つ橋大学の坂本二郎助教授が「おくれているのは東北という地域ではなくて、帽子の下にある東北的な考え方、アタマである」といつたことと思いあわせ、4の項目など強く反省させられるものがあります。

東北モンローが成り立たないように、まして福島県モンローや鮫川村モンローがナンセンスであることはいうまでもありません。

更に東北開発を進めるに当たつての基本的方向の中に、「高生産性農業の確立」という項目があり、これからの東北農業近代化の基本的方向づけを示しているのは、熟読に価するものと思います。

先づ農用地の積極的拡大をあげ、労働力の調整によつて乗り切れる限界はきているので、耕種農業に関する大型機械化農法の技術的、経営的準備は十分になされなければならないとしています。

わが国農業が、国民に対して安定的な食糧供給を確保すべき任務のために、可能性のある東北にその実現を期待することはごく順当な考え方であり、東北六県知事の東北を日本の食糧基地とする提言とも一致するわけです。

しかしこの考えはそうやすやすと実現できる程度のものではなく、国有林解放の立法措置さえできない現状では先づ容易なことではないといわなければなりません。

この報告書では、「あくまで農民自身の創意と責任においてなされるべきもので、国や県の指示に従うという形でなされてはならない」といつています。

そのとおりではあるが、発展を阻害する基本的な要因が自然的諸条件の劣悪さに基くものであるからには、国が他の地域に優る手厚い助成援助の施策を講じなければならないのは当然といえましよう。

すくなくとも北海道開発庁などの規模を上廻る、東北圏開発庁の設置が望まれてなりません。

◇　◇

議会だより

第十二回議会臨時会

去る十月三十一日に第十二回議会臨時会が招集され昭和四十一年度一般会計、特別会計補正予算等が提案されました。会議の結果は次のとおり。

(1)会期の決定（一日間）
(2)会議録署名議員の指名
(3)例月出納検査結果報告
(4)議案第五十一号　国有林野整備臨時措置法による払下林野の所有権移転について（原案可決）

これは、国有林野整備臨時措置法により、村が国から厳之草地内の国有林野を払下げを受けた土地（一八九、二一二平方米）であるが、昭和三十年二月にこの土地を当時の村長吉田義美と蛭田京之助外六名と売買契約をしてその代金も納入され、既に十年以上を経過したため、このたび買受人に所有権の移転登記を行うことにしたものです。尚この他に十数件同じようなケースの土地があるので、事実関係を調査確認の上、逐次所有権を移転して行く旨村長の説明があつたので附記しておきます。

(5)議案第五十二号　福島県消防補償等組合を組織する市町村数の増減及び福島県消防補償等組合規約の変更について（原案可決）

これは、広域行政の一つの方法として組織されている組合であるが、このたび合併により、「いわき市」が誕生したため組織体が変つたので、それに伴い改正されたもので県下の全市町村議会が議決して効力が発生することになつています。

(6)議案第五十三号　昭和四十一年度鮫川村一般会計補正予算（原案可決）

教育費に九二万円その他総務費、民生費、農林水産業費等の当面必要とするものに合計一、三三七千円が補正されました。これで一般会計の予算総額は一億三千一九五万五千円となりました。

(7)議案第五十四号　昭和四十一年度鮫川村特別会計補正予算（原案可決）

特別会計の補正は事業勘定（国保）の保険給付費、総務費等又直診勘定（診療所）の医療費及び施設整備費等がそれぞれ補正されたもので、事業勘定の予算総額二、六〇六万七千円、直診勘定の予算総額八六四万九千円となりました。

（議会事務局）

自主納税推進運動

十一月は各種の未納になつている村税を自主的に完納していただく目的で、村と県が協調して自主納税推進運動を展開しております。

十一月は農産物の販売代金などが入る時期でもありますから、未納になつている方はいろいろ御都合もあることでしようが、繰合せの上すぐに納めて下さるようお願いします。

なお、未納になつている税金を運動終了後に納める場合は延滞金を加算して納めていただくことになりますから御注意願います。

（税務課）

作文

きゅうしょくの　じかん

渡瀬小学校二年　えんどうかんいち

ぼくは、きゅうしょくはいいなとおもう。いつも学校へいつてべんきょうしていても、きゅうしょくがまちどうしい。きょうのおかずがなにでるかなとおもうととてもたのしみになる。まい日かわつたおかずでとてもおいしい。うちへかえつてくると、おとうさんやおかあさんが「きゅうしょくはなんだ」ときくのでぼくは「カレーうどんだ」といつた。そしたら「にんじんだのねぎだのたべたか。」といつたらぼくは「みんなくつた」といつた。「かんいちもすききらいがなくなつてよかつたなあ」とおとうさんがいいました。ぼくはどんなおかずでもたくさんたべて大きくなりたいとおもいます。

この程村税条例の一部が改正されて、下肢または体幹に障害があり歩行が著しく困難な身体障害者が所有する軽自動車税は申請によつて免除することになりました。

これは、これらの身体障害者が自から運転するもので、いわば足がわりに用いるものをいうわけです。このような軽自動車については税金を免除することによつて身体の障害を克服し、健全者に伍して社会生活を営むための一助となることを期待するものです。

軽自動車税を免除

— 歩行困難な身障者 —

免除を受けることのできる方を詳しく説明しますと次のとおりです。

下肢または体幹が不自由で歩行が著しく困難で、身体障害者手帳の交付を受けている者で、日常生活のために自分で運転する軽自動車一台に限ります。従つて営業用に使用するものは該当しません。

該当者は身体障害者手帳と運転免許証と軽自動車及び印鑑を持参の上、役場税務課で免除申請の手続きを済ませて下さい。　（税務課）

（ね）（ん）（き）（ん）　かけ金ともらえる年金額

昭和36年4月1日の年令	かしけた金期を間	かけ金を60才まで毎月したとき		老令年金		障害年金		母子年金 準母子		遺児年金		寡婦年金	
		改正前	改正後	改正前	改正後	改正前	改正後	改正前	改正後	改正前	改正後	改正前	改正後
才	年	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
20	40	63.000	123.450	42.000	96.000	42.000	96.000	25.800	55.200	21.000	48.000	21.000	48.000
25	35	57.000	108.450	36.000	48.000	36.000	84.000	22.800	55.200	18.000	42.000	18.000	42.000
30	30	51.000	93.450	30.000	72.000	30.000	72.000	19.800	55.200	15.000	36.000	15.000	36.000
35	25	45.000	78.450	24.000	60.000	24.000	60.000	19.200	55.200	12.000	30.000	12.000	30.000
40	20	36.000	60.450	18.000	48.000	24.000	60.000	19.200	55.200	12.000	30.000	9.000	24.000
45	15	27.000	42.450	15.000	36.000	24.000	60.000	19.200	55.200	12.000	30.000	7.500	18.000
50	10	18.000	24.450	14.400	24.000	24.000	60.000	19.200	55.200	12.000	30.000	7.200	12.000

（注）1. 障害年金の1級に該当する方は12.000円、母子年金、準母子年金、遺児年金の子、孫、弟妹は2人目以降から1人について4.800円がこのほかにもらえます。
2. 寡婦年金は60才から64才までもらえます。
3. 年金額は、かけ金をした期間と、かけ金が免除された期間に応じて決められますが、この表はすべてかけ金をしたものとして計算してあります。

告知版

成人者のお知らせ

昭和二十一年四月二日より二十二年四月一日までに生れた方が、明年一月十五日に行なわれる成人式に参加される該当者（住民登録による次の方々）です。式は新装の公民館で行ないますが招待状は年賀ハガキをもって通知します。転出者で郷里で成人式に参加されたい方は十二月中に公民館事務局に申しこんで下さい。

大字赤坂西野（十六名）

近藤三津夫　北条弘子　矢吹ツヤ子　高坂憲二　増子マサ子　増谷礼子　坂本幸市　藤田芳美　斉藤弘和　舟木勝男　舟木チョノ　鈴木七郎　藤元孝子　良美　星宗一　藤田元紀　西野レイ子

大字西山（十二名）

生田目稔　生田目春子　鈴木カツ子　我妻佐利　山本アキ子　関根正　三瓶茂子　根本チイ子　関根八重子　大竹節子　高野稔　関根幸子　須藤宏　湯座良子　生田目一吉　鈴木善孝　田中吉男　緑川利雄　大楽勝弘　矢吹サツキ　金沢利子　金沢トミイ　鈴木リキヤ

大字赤坂東野（十六名）

小川守　蛭田彦忠　円井秀雄　鈴木悦子　諸橋スガ子　田子一夫　鈴木ケイ子　鈴木秀子　生田目喜市　岡部光次　中川西幸子　蛭田桂子　佐川一郎　前田悦子　中川西一美　矢吹孝子　大字富田（三名）　国島義磨　松本キヨ　坂本圭司

大字渡瀬（五名）

山形恵子　木之内晃　菊地文枝　芳賀正訓　芳賀操

大字青生野（四名）

本多勝之　土手内隆男　長井光江　長井太一

感想文募集

成人になって感じたことを四百字詰原稿用紙三枚以内にまとめて、四十二年一月十日まで公民館事務局に届けて下さい。

応募者全員に記念品を差し上げます。

☆　☆

十一チームが参加 文化祭野球大会

渡瀬ク農協チームを加えた秋の野球大会は十月二十二、二十三、三十日の三日間にわたり村民運動場で開かれ、肌寒いなかで熱戦がくりひろげられ、決勝は前回優勝の中野チームと鮫高チームで戦われ一点を争う好ゲームとなり観衆をわかせたが練習量の多い鮫高チームが二対一で優勝、石田村長旗と福島民報社、早川新聞店寄贈のトロフィーを獲得した。各チームの成績は次のとおり。

一回戦

鮫川連送3——0富田
鮫高12——1渡瀬ク
東石11——3西野
西山5——3教職員
役場15——2農協
鮫高2——1東石
中野7——1役場

準決勝

鮫高6——1鮫川連送
中野3——1西山

決勝

高校2——1中野

田子さんから三万円 花瓶・時計の寄贈

公民館建築には村内外から多くの御好意が寄せられていますが、このほど大字東野字官代出身で東京都で不動産業を営なんでいる田子竹治さんから、公民館の備品費にと金三万円が寄せられました。

大字赤坂中野出身で棚倉町で料亭「初音」を経営している斉須ハツノさんから花瓶二ケ、東白川郡酪参事として塙町に勤務している大字富田の松本亨さんから時計一ケが寄贈されました。

前号でお知らせしました東京都の佐藤大助さんから「幕代」として金十万円が、お父さんの佐藤信正さんを通じて寄せられました。

19回鮫川村文化祭

特産物・林産物品評会出品のおすすめ!!

☒ 特産物品評会

- 葉たばこ　30枚2把を1点とします。
- こんにやく　1年——10ヶ　2年——7ヶ　3年——5ヶ　4年——3ヶ　5年——2ヶ　各1点
- 繭　300グラムを1点とします。

☒ 林産物品評会

- 樹苗　1年——15本　2年——10本　3年——5本　各1点
- 桑苗　5本を1点とする。
- 木炭　袋結2袋1点　俵結1俵1点
- しいたけ　100グラム入5袋1点

◎ 出品の受付　11月21日午前8時半から正午まで　会場は畜産センターです。

◎ 審査　11月21日午後1時から午後4時までに決定します。

◎ 陳列縦覧　11月22日午前9時から午後4時まで　11月23日は正午までです。

◎ 褒賞授与式　11月23日午前9時から鮫川村役場会議室で行ないます。出品者の皆さん方多数お出下さい。

※　出品物は会の終了後、出品者にお返し致します。

おめでた

十月

二反田　鷲野谷秋男　父弘行
小名沢　生田目博和　〃一義
見渡　円井ひろ子　〃幸男
大平　関根文雄　〃光雄
新宿　五十嵐富美代　〃大一
官代　前田婦美　〃武久
福原　芳賀千秋　〃西郎
官沢　矢吹好弘　〃堅寿

おくやみ

十月

二反田　鷲野谷秋男　0　満
岡田　舟木千代子　14　徳治

十一月

宝木　水野勝蔵　67　真
大竹　岡部光四郎　67　光男
赤柴　関根理利　10　武
関口耕地下重　マツ　81　金治

する苦労、させられる苦労

最近の子どもの生活、とくに学校生活から「あそび」が少なくなったとは、私どもも良く言い世人も認めている。私たちの小学校の頃は、よく先生と手つなぎ鬼をしてあそんだり、なわとびをしたりしたもので、これがなつかしい思い出にもなつている。

子どもは「あそび」をやたらに好む。学校が楽しいのも原因の一つにこころがある。よく考えてみると「あそび」にはなかなか苦労がある。全部が全部楽しいおもしろいものばかりでない。だが「あそび」は苦しいものであつても「させられる苦労」でない「する苦労」である。

子どもは大人のように横着者ではない。苦労なんか平ちやらである。馬乗りをみてもそのとおり。石けりをみても然りで、この点から考えると「勉強せよ」と言われる「させられる苦労」は逃げたいのである。だから子どもは勉強はきらいだと言つている。

「あそび」がたとえ苦しいものであつても苦にならないのは、どんなに勉強がきらいな子であつても「あそび」のなかでは主人公になれるからである。手伝いも同じ、こんなことが言えよう。「する苦労」と「させられる苦労」のなかから、私たちの仕事の一つ一つを分析していくと思いあたることが沢山ある。できたら「する苦労」を多くしたいものである。

西野小学校長　古川　一郎

11月の納税

固定資産税第3期分です

納期限11月25日

12月の納税

保険税第5期分と村県民税第3期分です

納期限12月25日

あとがき

文化祭行事の計画を担当してから十余年を過ぎました。思いかえしてみれば農産物品評会が中心だったのは最初の二、三年に過ぎず、レクリエーションに主力をおいてみたがこれもテレビに押されて先細りになり、文化行事と言つても、これと言つた文化団体のない本村ではまとまらない。何をやつたら良いのか思案にくれる昨今です。

お嫁さん、お母さんの会は他町村にはみられない会で好評のようです。本年は慰案行事に趣向を変えてテレビの人気ドラマで、映画化されたものを加えてみました。如何でしょうか。（鈴木一）